

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

目標達成計画書

作成日: 平成 29 年 11 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化と職員不足が続き、利用者の希望に添える外出の支援が難しい中で、職員の体制を整え、いつでも外出できる体制を整えていく。	ボランティアや家族の協力を得て、散歩や買い物、外食に出かけ、利用者の生きがいに繋がる、日常的な外出支援に取り組んでいく。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護技術の差があるので、研修会や勉強会を通じて、職員の介護知識や、技術の向上に取り組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	外部の研修会に、習熟度に合わせて職員を派遣し、知識を習得し、社会勉強して意識の高揚を図り、職員の意欲に繋がる職場を目指していく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員の中に民生委員が毎回4、5名が参加し内容も充実しているので、ホームの問題だけでなく、地域の高齢者や認知症の問題にも積極的に話し合っていく。	会議の中で認知症の研修を行い、地域の中で認知症高齢者が安心して暮らせる環境を整備し、地域の方と協働で、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを実施していく。また、家族の参加しやすい日時を選んで会議を開催していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。